

悔い改めて...

シリーズ～神の国～

2013/1/6

マルコによる福音書1章14~15節

ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤへ行き、神の福音を宣べ伝えて、「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」と言われた。

「神の国」と「人の国」

➤「人の国」ではない

- 人が支配し,人が考え,人が予測し,人が自分の利益を求め,人が栄光を受け,人のためにある国

➤人の国の問題と限界

- 完全な統治機構は存在しない,支配者の利益が優先される,未来を予測できない,全体を見渡すことができない,結局その場しのぎである

➤「あなたの国」ではない

- あなたが主役(王),主人公,中心人物
- あなたが考え,決定し,利益を得る

神が支配される国

➤「神の国」とは

- 神が支配し, 神の意志が実行され, 神が栄光を受け, 神のためにある国

➤完全な国

- 人間の(個人的な)利益が優先されない, 未来を見据えている, 全世界を見渡している, 全人類にとっての最善が行われる

➤神を中心とした国

- 神が主役, 主人公, 中心人物
- 神が考え, 決定し, 栄光を得る

「時は満ちた」「近づいた」

- 「時」とは、「ふさわしい時期・機会」
 - “カイロス” ←→ “クロノス” : 進んでいる時間
- 「時が満ちた」とは「準備が整った」
 - 潮が満ちるように、神様の準備が整った
 - 旧約聖書の時代は準備の時代だった
 - 「人の国」のもろさ, 弱さ, 愚かさが証明された
- 「神の国は近づいた」
 - 「満ちた」も「近づいた」も完了形である
 - 「あなたの手の届くところに来た」
 - チャンスは来た!

「悔い改めて」

- 「悔い改め」を表す2つの言葉
 - “メタメロマイ”：興味関心の対象を変える
 - “メタノオー”：考え, 思いをすっかり入れ替える
 - “ヌース”：常識, 知恵, 理性, 心, 直感
- 「悔い改める」とは
 - 罪や過ちを認め, 行動を改めること
 - 自分の考えが根本から間違っていると認め, 正しい考えに委ねること
- 心の政権を「自分」から「神」にゆずる
 - 自分が支配してきた過去の悪政を思い出せ!

「福音を信じなさい」

- 「福音」とは神からもたらされる教え
 - 自分の法律から神の法律(福音)によって自分の人生を支配してもらおう
- 「信じる」とは完全に任せること
 - 参考にする, 教えてもらう, 必要に応じて利用する, ということではない!
- 「悔い改めて福音を信じる」
 - 『心を変える, 考えを変える, 人生における考え方の根本をすっかり変える。ヌースを働かせて神の意志を受け入れ, キリストを自分の全生活の主として受け入れるという生活態度の根本における変更をなすこと。』(織田 昭)